

食品行政の動向と機能性表示食品を取り巻く環境

-開催趣旨-

近年の食品安全を取り巻く環境変化を踏まえ、2018年6月に改正食品衛生法が成立し、新たな制度の導入が進んでおります。食品に関わる規制の迅速かつ適正な見直しは、食生活の多様化、食のグローバル化などに直面する国民の健康保護に重要であり、食文化の発展にも大きく影響すると考えられます。

食品添加物においては、2018年2月に第9版食品添加物公定書が公表された後、2020年2月に既存添加物名簿の一部改正、同年6月には第9版食品添加物公定書追補1が公表されるなど、規格基準の作成が強化、加速化しています。一方、機能性表示食品制度は2015年4月から開始され2020年で丸5年となり、これまでの実績や調査などによって様々な知見が蓄積されています。

そこで今回、第36回食品化学シンポジウムは、「食品行政の動向と機能性表示食品を取り巻く環境」をテーマとし、食に関わる関係者が食の安全と消費者の保健に貢献していく上で参考となる最新情報を提供していく場と致します。

-プログラム(予定)-

13:30～13:35 世話人挨拶 日下部哲也 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 国際業務調整役)

シンポジウム1 食品行政の動向について

座長：日下部哲也 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 国際業務調整役)

13:35～14:10 講演① **食品安全委員会における食品リスク評価の動向**

内閣府食品安全委員会委員 川西 徹先生

14:10～14:45 講演② **食品添加物の最近の動向**

国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 第一室長 多田敦子先生

(休憩 14:45～15:05)

シンポジウム2 機能性表示食品を取り巻く環境

座長：袴塚高志 (国立医薬品食品衛生研究所生薬部長)

15:05～15:40 講演③ **機能性表示食品制度発足から5年が経過して**

消費者庁食品表示企画課 保健表示室 課長補佐 久保陽子先生

15:40～16:15 講演④ **アカデミアにおける食品の臨床研究支援の実施**

大阪市立大学医学部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター 藤井比佐子先生

16:15～16:50 講演⑤ **健康な食生活に向けた機能性表示食品の活用**

株式会社 明治 乳酸菌研究所 栄養機能研究部 栄養機能G 夏目みどり先生

16:50～17:00 閉会挨拶 小関良宏 (日本食品化学学会理事長、東京農工大学工学部教授)

- 主催： 日本食品化学学会
- 日時： 2020年12月2日(水) 13:30-17:00 (予定)
- 開催形式： オンライン配信 (Zoom ウェビナーにて実施予定)
- 参加費： 無料
- 定員： 150名 (事前申し込みのみ、定員になり次第、受付終了となります。)
- 申込方法： 学会事務局 shokuhinkagaku@jsfcs.org まで、メールでお申し込みください。

件名を「第36回食品化学シンポジウム参加申込」とし、①ご氏名、②ご所属の明記をお願い致します。受付後、視聴における留意事項などをご連絡致します。

講演要旨(PDF)、当日の配信 URL は、シンポジウム開催までに順次メールにてお知らせいたします。

以上